



2020年12月期  
第3四半期 決算説明資料

フロンティア・マネジメント株式会社  
(東証一部：7038)  
2020年11月12日

---

# 目次

---

Section 1	2020年12月期 第3四半期決算報告	.....	P. 2
Section 2	各種施策の進捗	.....	P.10
Section 3	2020年12月期 通期の見通し	.....	P.17
Section 4	会社概要	.....	P.22



## Section 1

2020年12月期 第3四半期決算報告

## 2020年12月期 第3四半期決算報告 ～ サマリー

- 経営コンサルティング事業は継続的に成長し、再生支援事業は大幅増収
- ファイナンシャル・アドバイザー事業の売上計上は遅延するも、受注残高は過去最高水準
- 前年度の本社移転に伴う一時費用(特別損失)がなくなり、当期純利益は大幅増
- 来期案件増への対応として、人材強化を前倒しし、期末目標200名に対し3Q末223名  
(当社一人当たり人件費は10百万円強、採用費は年収の約30%が目安)

(百万円)

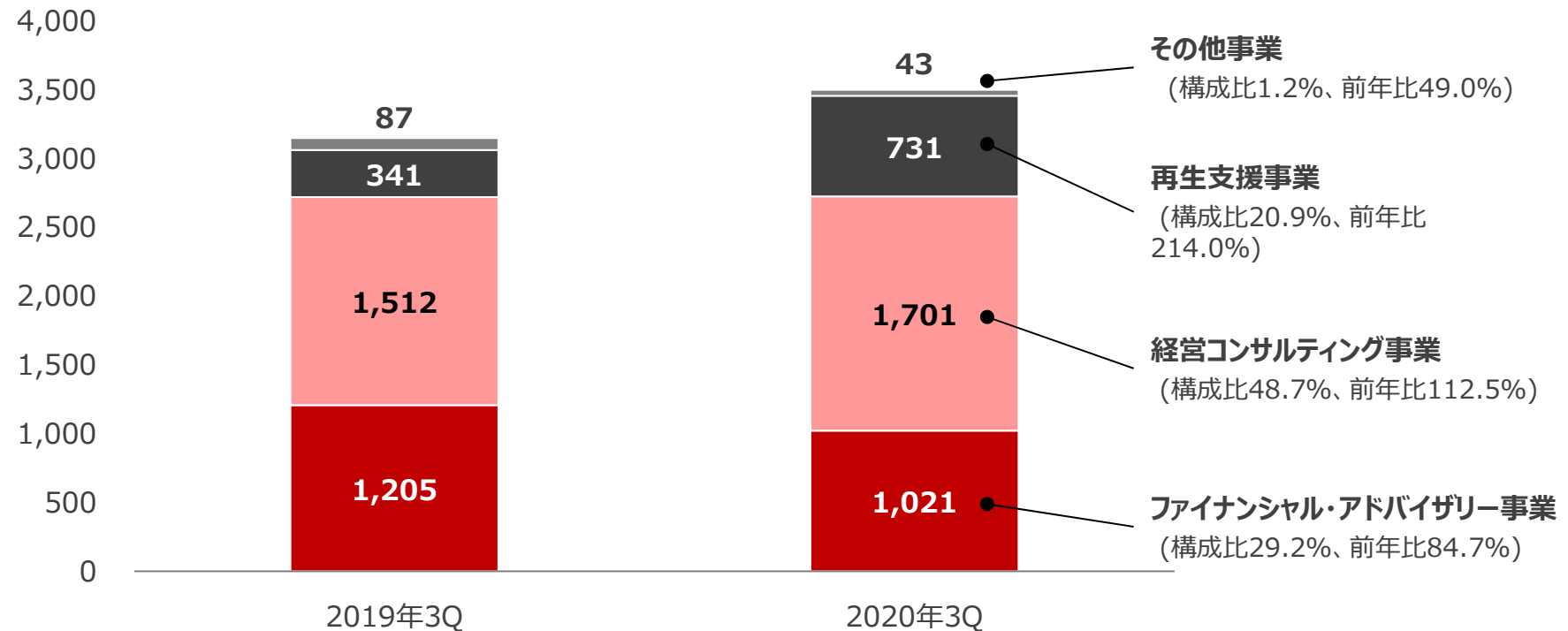
	2019年12月期 3Q実績	2020年12月期 3Q実績	増減額	増減率	2020年12月期 当初業績予想 (2020/2/13公表)	進捗率
売上高	3,145	<b>3,495</b>	+349	+ 11%	5,300	66%
営業利益	133	<b>116</b>	△ 18	△ 13%	800	15%
経常利益	143	<b>109</b>	△ 35	△ 24%	800	14%
当期純利益	36	<b>71</b>	+ 35	+ 97%	557	13%



## 2020年12月期 第3四半期決算報告 ～ 事業別売上高

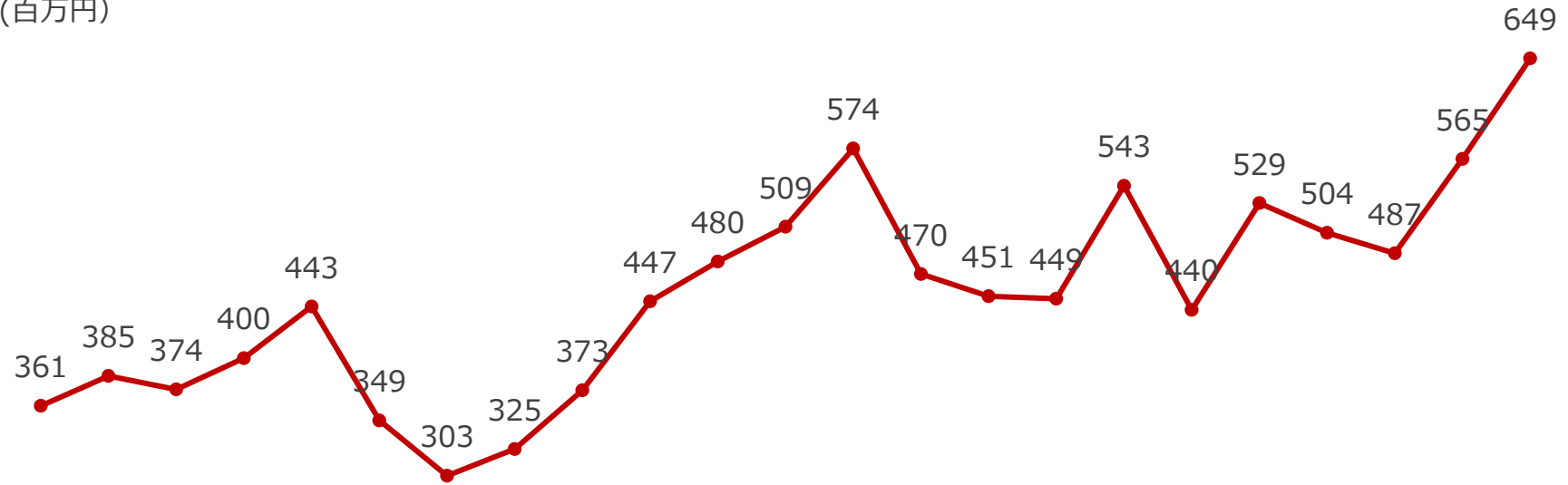
- 経営コンサルティング事業は、継続案件の増加や、案件規模の大型化などにより増収
- 再生支援事業は、案件数も案件単価も増大し、前年同期比2倍超と大幅増収
- FA事業は、コロナ影響による国外移動制限のためにクロスボーダーM&Aの売上未達、ほか2Q、3Qから進捗が遅れていた案件の成約が4Qにずれこみ、全体として減収

(百万円)



# 四半期売上高推移(1/3) ～経営コンサルティング事業

(百万円)

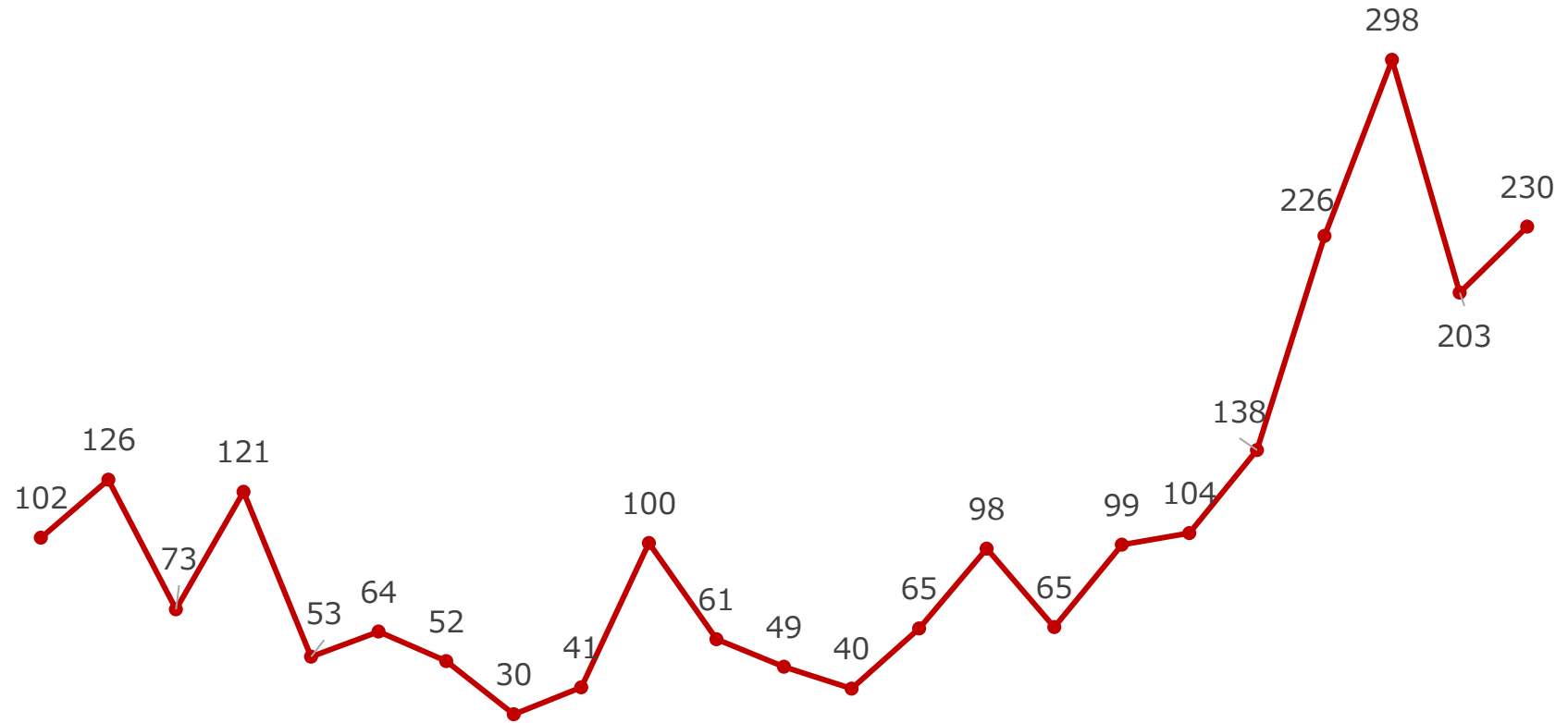


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
2015				2016				2017				2018				2019				2020		



# 四半期売上高推移(2/3) ~再生支援事業

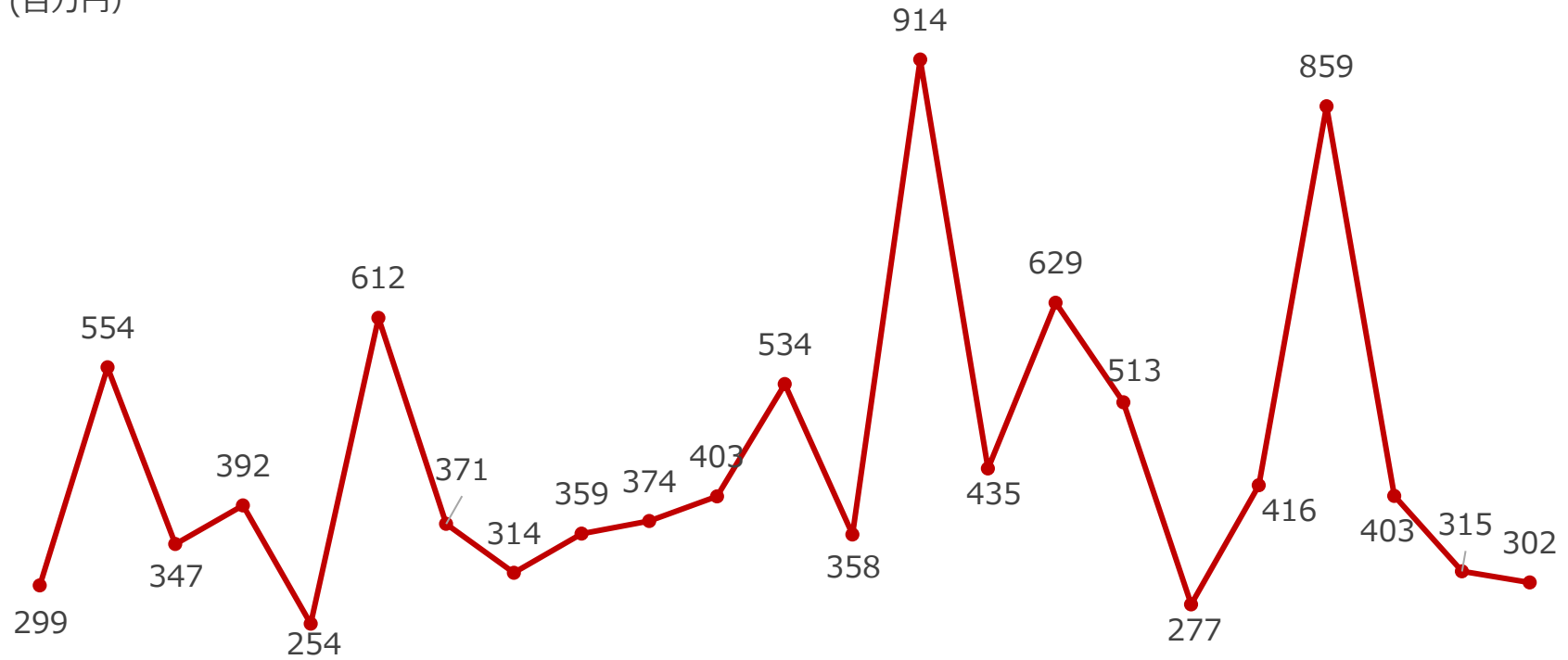
(百万円)



1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
2015				2016				2017				2018				2019				2020		

# 四半期売上高推移(3/3) ～ファイナンシャル・アドバイザー事業

(百万円)



1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q				
2015				2016				2017				2018				2019				2020		



# 2020年12月期 第3四半期決算報告 ～ 連結PL概要

人材強化により人件費、採用費は増加し、外注費は圧縮傾向へ

(百万円)

	2019年 3Q実績	2020年 3Q実績	増減率
売上高	3,145	<b>3,495</b>	+11%
営業費用	3,012	<b>3,379</b>	+12%
外注費等	237	<b>153</b>	△35%
人件費	2,002	<b>2,367</b>	+18%
採用費	104	<b>174</b>	+67%
その他費用	667	<b>683</b>	+2%
営業利益	133	<b>116</b>	△13%
経常利益	143	<b>109</b>	△24%
税前利益	100	<b>109</b>	+9%
当期純利益	36	<b>71</b>	+97%
減価償却費	23	<b>28</b>	+23%
EBITDA	124	<b>139</b>	+12%

外注費圧縮\*

**-84百万円**

人件費・採用費増\*

**+435百万円**

\* 2020年1～3Qと2019年1～3Qの累計の差分



## 2020年12月期 第3四半期決算報告 ～ 連結BS概要

売掛金の回収に伴い流動資産は減少

賞与引当金や法人税等の支払いによる減少により流動負債は減少

(百万円)

	2019年12月末	2020年9月末	増減額
流動資産	2,585	<b>2,290</b>	△295
固定資産	683	<b>721</b>	+37
資産合計	3,269	<b>3,012</b>	△257
流動負債	1,001	<b>833</b>	△169
固定負債	82	<b>82</b>	+0
株主資本	2,173	<b>2,084</b>	△89
その他純資産	12	<b>12</b>	+0
負債純資産合計	3,269	<b>3,012</b>	△257
現預金	1,733	<b>1,581</b>	△152
有利子負債	—	—	—
Net Debt	△1,733	<b>△1,581</b>	+152





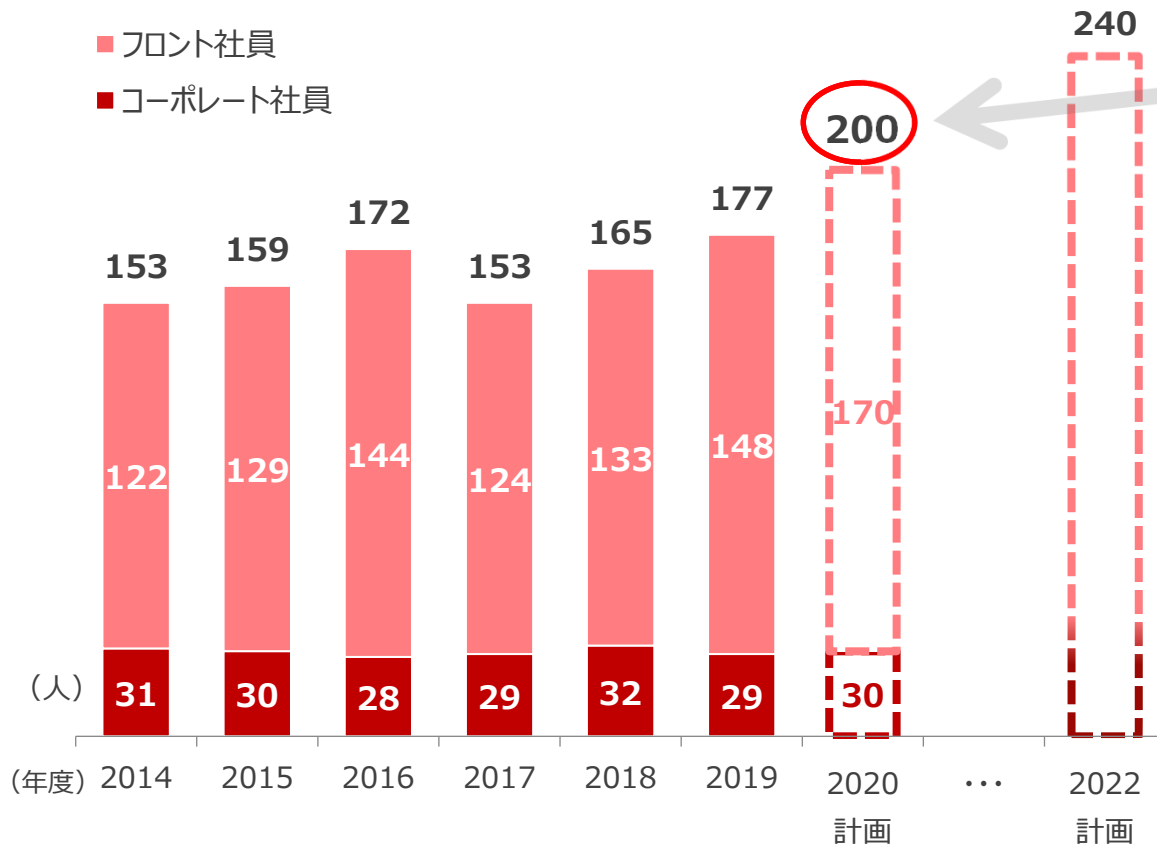
## Section 2

### 各種施策の進捗

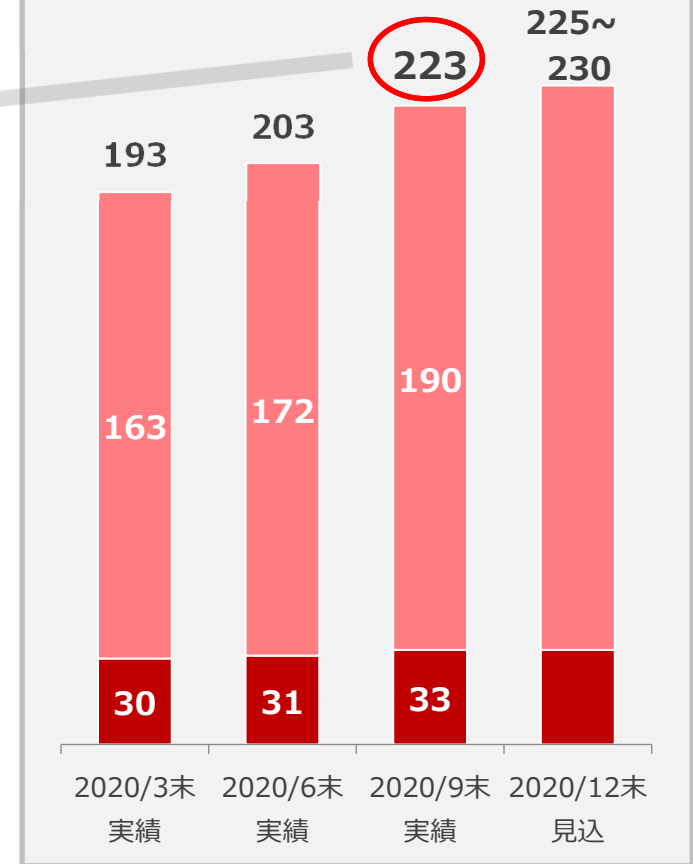
# 体制強化を目的として、採用を積極化

今後の案件大型化、再生案件の増加に備え、優秀な人材採用施策を継続

### 期末従業員数の推移



### 今期の従業員数は既に目標達成

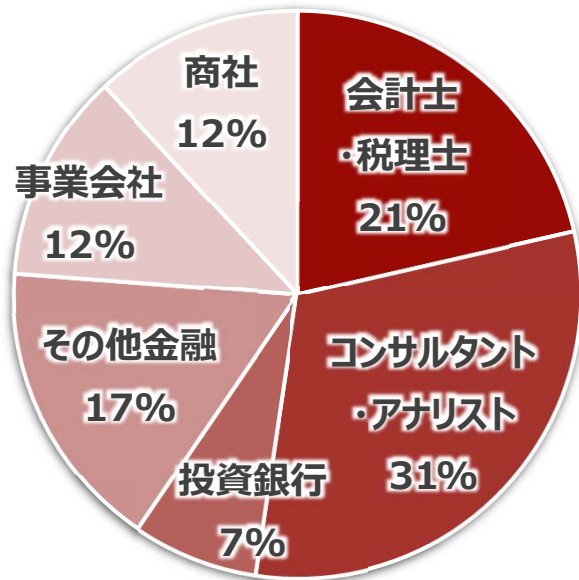


# 採用人員の構成

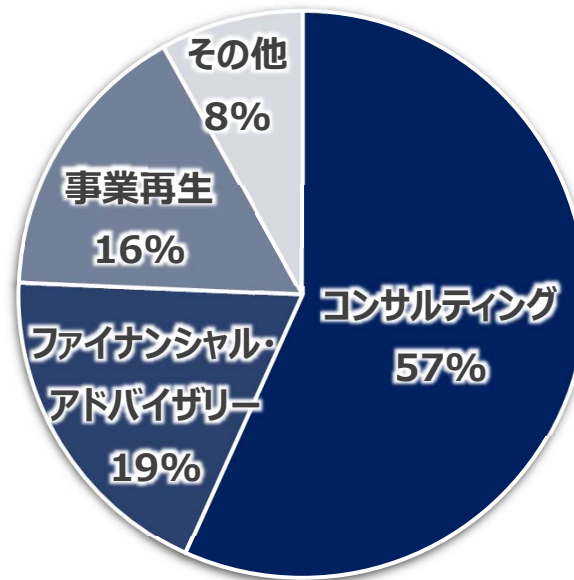
多様なバックグラウンドを持つ人材を採用し、市場から必要とされる事業部門へ配属

## 2020年度1月～9月 採用人員の各要素別構成比

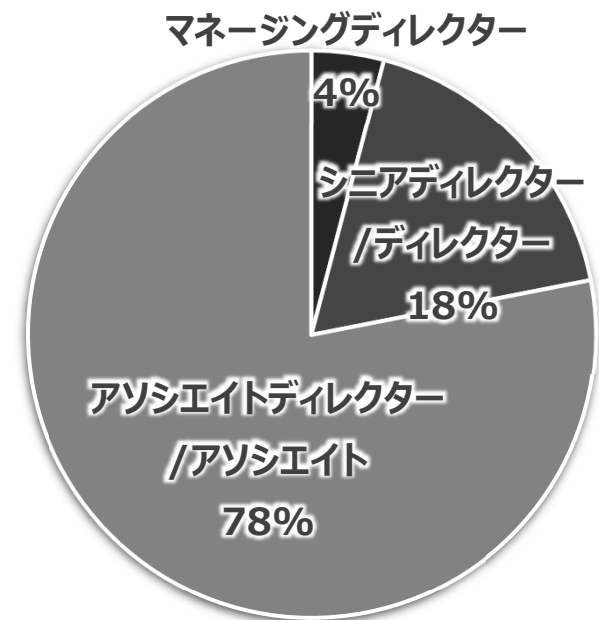
### バックグラウンド



### 配属部門



### 採用職位



# 東証一部上場

フロンティア・マネジメント株式会社は、9月7日より東京証券取引所  
マザーズから東京証券取引所市場第一部へ市場変更されました。



おかげさまで本日、  
フロンティア・マネジメント株式会社は  
東証一部に上場いたしました。

青木 悠太郎/青野 新/赤木 幹大/朝夷 敏久/浅海 充正/安積 正和/阿部 敬/Aldric How/飯田 俊哉/五十嵐 幹直/石川 夏鈴/一志 佳孝/伊藤 雅典  
 稲田 洋介/今井 健太/宇畑 明典/梅本 武/海老原 成敏/遠藤 薫/大迫 友哉/大杉 和人/大塚 直通/大西 恭平/大沼 蔵人/大屋 貴史  
 大山 龍磨/小笠原 素規/岡村 英和/岡本 有晃/沖野 登史彦/荻村 昇二/小沢 京子/小田部 馨/小野寺 郁斗/小幡 駿/加藤 聖也  
 樺澤 雄太郎/栢森 太一/川喜田 昭博/川本 紘登/木俣 洋祐/葛本 裕和/三藤 友紀/栗山 史/樽沼 道久/黒澤 猛/桑原 鮎美  
 古賀 彰/古賀 駿佑/越野 純子/越守 丈太郎/後藤 海斗/木波 壽司/木場 亮太/小柳 寛人/小柳 秀征/近藤 俊明  
 齊藤 雄輔/佐伯 俊介/酒井 信行/坂本 伸仁/笹井 章弘/笹沼 大樹/佐藤 誠/佐野 伸輔/佐野 巧真/Zhang Zhekai  
 清水 淳史/下河邊 和彦/下村 昂/城野 聡宏/白石 卓彰/白澤 一希/菅谷 貴志/菅原 良太郎/杉 容子/James Horiuchi  
 圖子 大智/関口 敏光/瀧間 勝巳/高井 良 祐紀/高久 昌英/高野 麻子/高橋 尚美/高橋 義昭/竹下 薫/徐 子錚  
 武田 惇吾/田中 浩一郎/田中 晃/田中 裕輔/土屋 有介/寺阪 潤也/友清 小夜香/豊重 匠汰朗/Joel Tay/石 婉瑩  
 永島 徳大/中間 昭登/中村 暁高/中村 吉浩/成田 晃一/西上 義彦/西澤 純男/西田 明德/西山 真司  
 二宮 茂明/橋 文葉/橋口 信一郎/長谷川 智之/長谷川 翔平/長谷川 智之/長谷川 亮二/服部 暢達/馬場 智大/早川 友啓  
 比嘉 大輔/疋田 英朗/彦工 伸治/火箱 絵美/平野 達也/深堀 恵/福田 聡一郎/藤澤 順也/藤下 修平/藤田 美紗子/舟橋 宏和  
 堀越 康夫/本間 貴之/前島 有吾/前田 竜/増子 洋/松尾 快/松村 幸男/三浦 充美/水野 英之/光澤 利幸/箕岡 英樹/宮部 良将  
 村瀬 協吾/村田 朋博/毛利 剛実/甕 知行/本橋 陽介/森 楓子/森口 輝来/矢島 政也/泰永 大輔/山内 俊毅/山川 寛之/山岸 典博/山越 功  
 山崎 拓/山田 耕太郎/山田 涼平/山手 剛人/横江 正三/横田 倫乙/横山 卓哉/吉田 亮太/吉村 貴幸/羅 恵/和田 晃一/和田 勇人/ほか63名

フロンティア・マネジメントは、産業再生機構出身の2名の代表により、専門家チームによるお客様の経営課題の解決を企図して設立され、  
経営支援・M&A・事業再生など多様な専門性・手法を提供してまいりました。  
これからもご支援のほどお願いいたします。



フロンティア・マネジメント株式会社 〒106-6241 東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー41階 ホームページ <https://www.frontier-mgmt.com>



代表取締役  
大西 正一郎



代表取締役  
松岡 真宏

Webinar

上場記念セミナー

『ダメ企業の株価が高いワケ』

開催日程 9月10日(木) 14時より  
登壇者 フロンティア・マネジメント株式会社  
代表取締役 松岡真宏

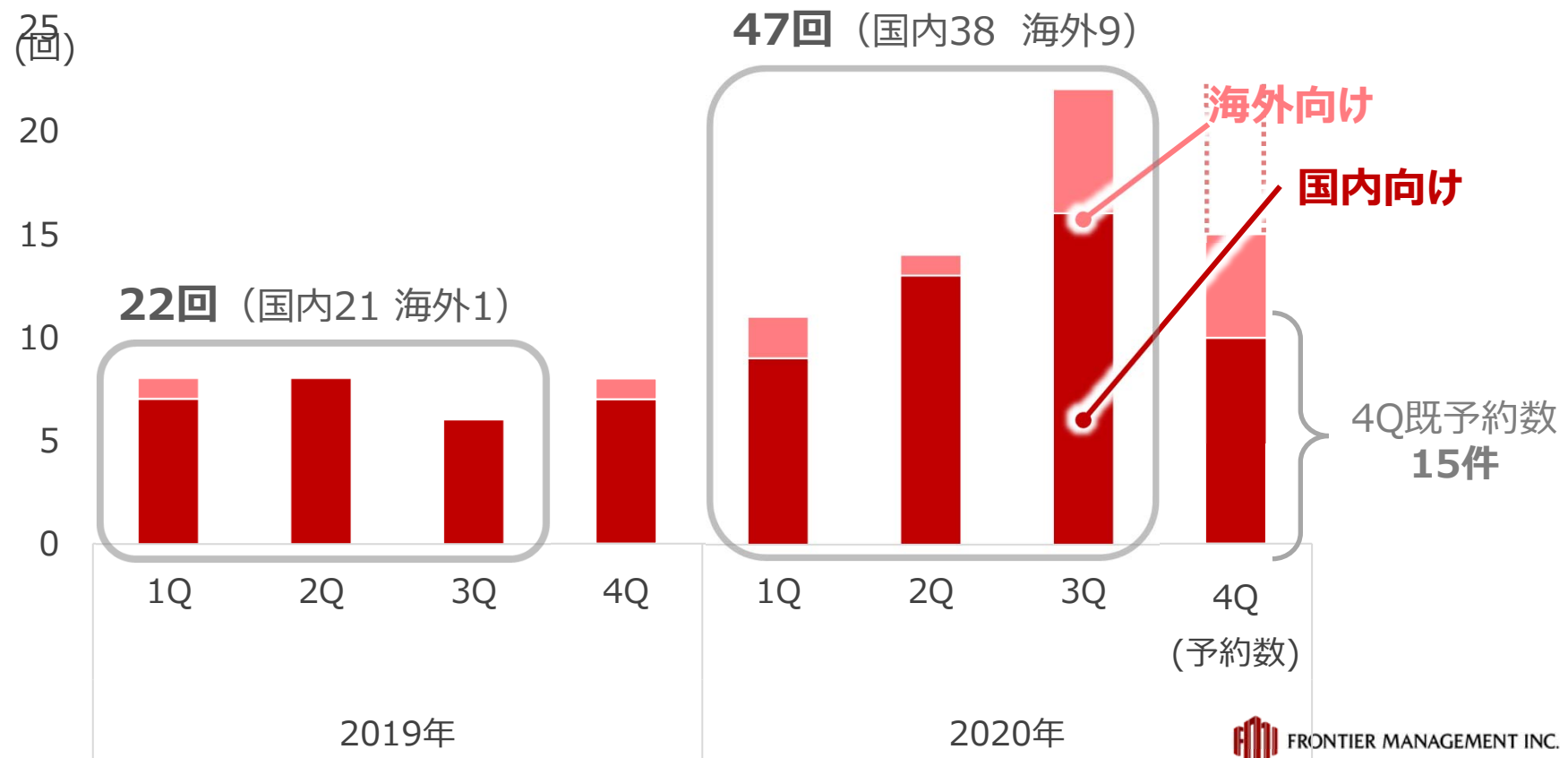


# IR活動強化

国内外の機関投資家へのIR活動を強化

2020年の1~3Qは昨年比の2倍の実施数

## 機関投資家との個別IRミーティング実施数



# フロンティア・マネジメント ウェビナーの開始

新たな顧客接点拡大へ向け2020年9月よりウェビナーを開始。

これまで5回開催し、視聴者数は累計 1,142名（2020年11月9日時点）

今後も様々な切り口で皆様の企業課題解決につながるTipsを提供いたします。





# オウンドメディア「Frontier Eyes Online」の着実な成長

当社認知度とブランドの向上を目指し、2020年2月独自メディアの運営開始。  
2020年12月末目標10万PVに対し、10月時点で約9.5万PVへ到達。

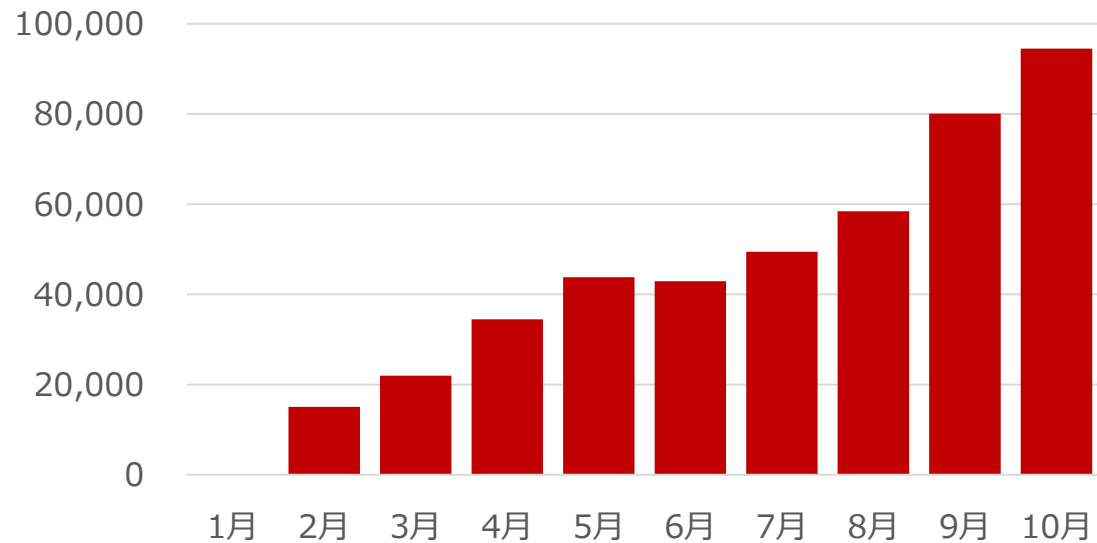
## 「Frontier Eyes Online」



<https://frontier-eyes.online/>

## 週間PV数の推移

(PV数)





## Section 3

2020年12月期 通期の見通し

## 2020年12月期 通期の見通し

---

### 経営コンサルティング事業・再生支援事業

- ✓ 3Qまでの強い増勢基調は4Q以降も継続の見込。

### ファイナンシャル・アドバイザー事業

- ✓ 売上はコロナの影響で一時縮小するも、2、3Qの受注残高は過去最高水準へ。
- ✓ 足元ではカーブアウト案件や、再生系のM&A案件、ファンド案件の問い合わせが増加中。

### 経費

- ✓ 4Qも積極採用を継続。 期末225~230名体制を見込み、人件費・採用費を投下予定。

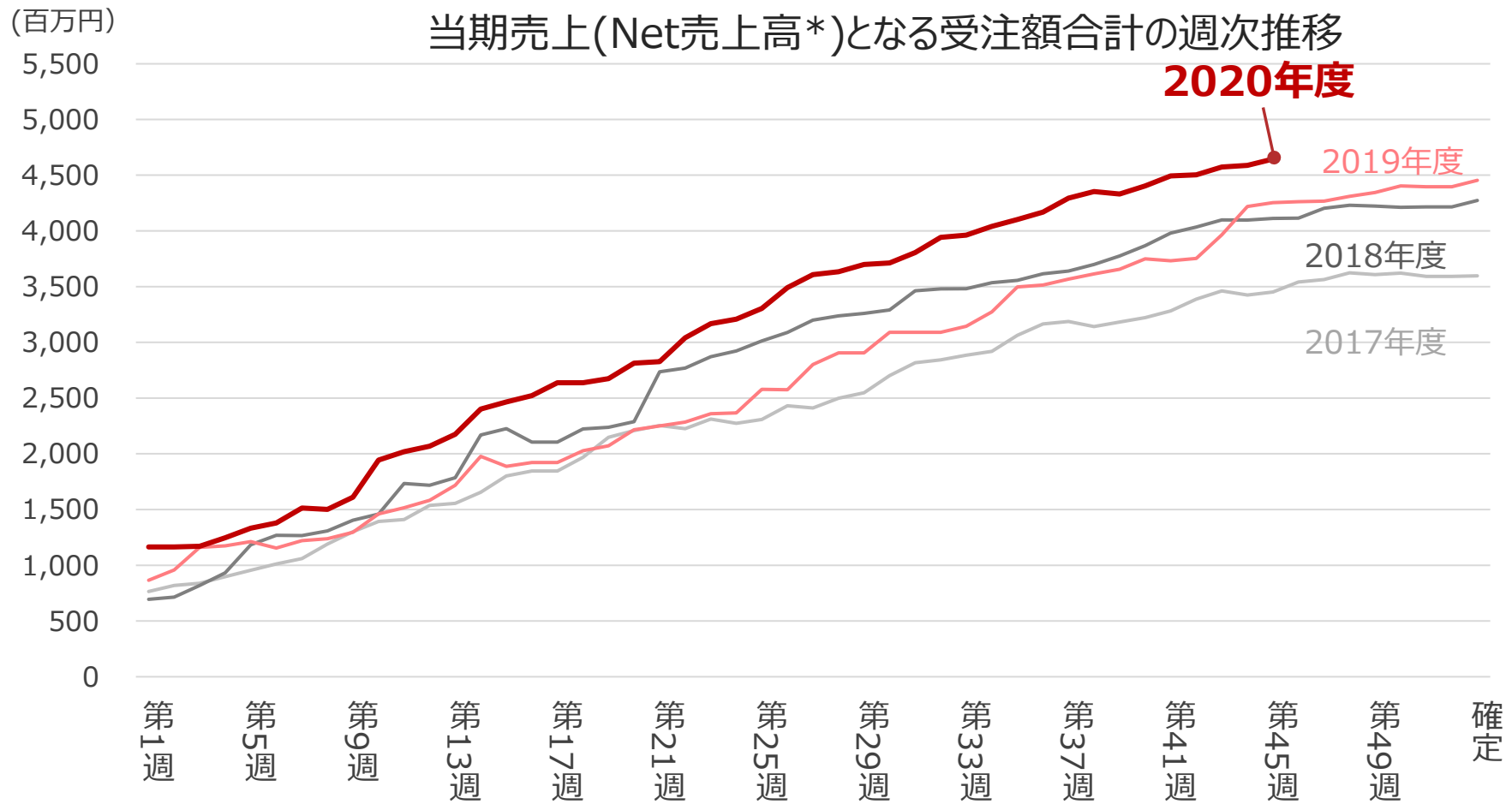
### 通期業績予想

- ✓ 上記により、売上高5,300百万円、営業利益800百万円の通期業績予想は不変。
- ✓ 主力3事業の増勢や人員増を受け、現在中期計画を立案中、2021年2月開示予定。

# 当期売上となる受注額合計の推移

長期案件・大型案件の増加により過年度を越えるペースで推移

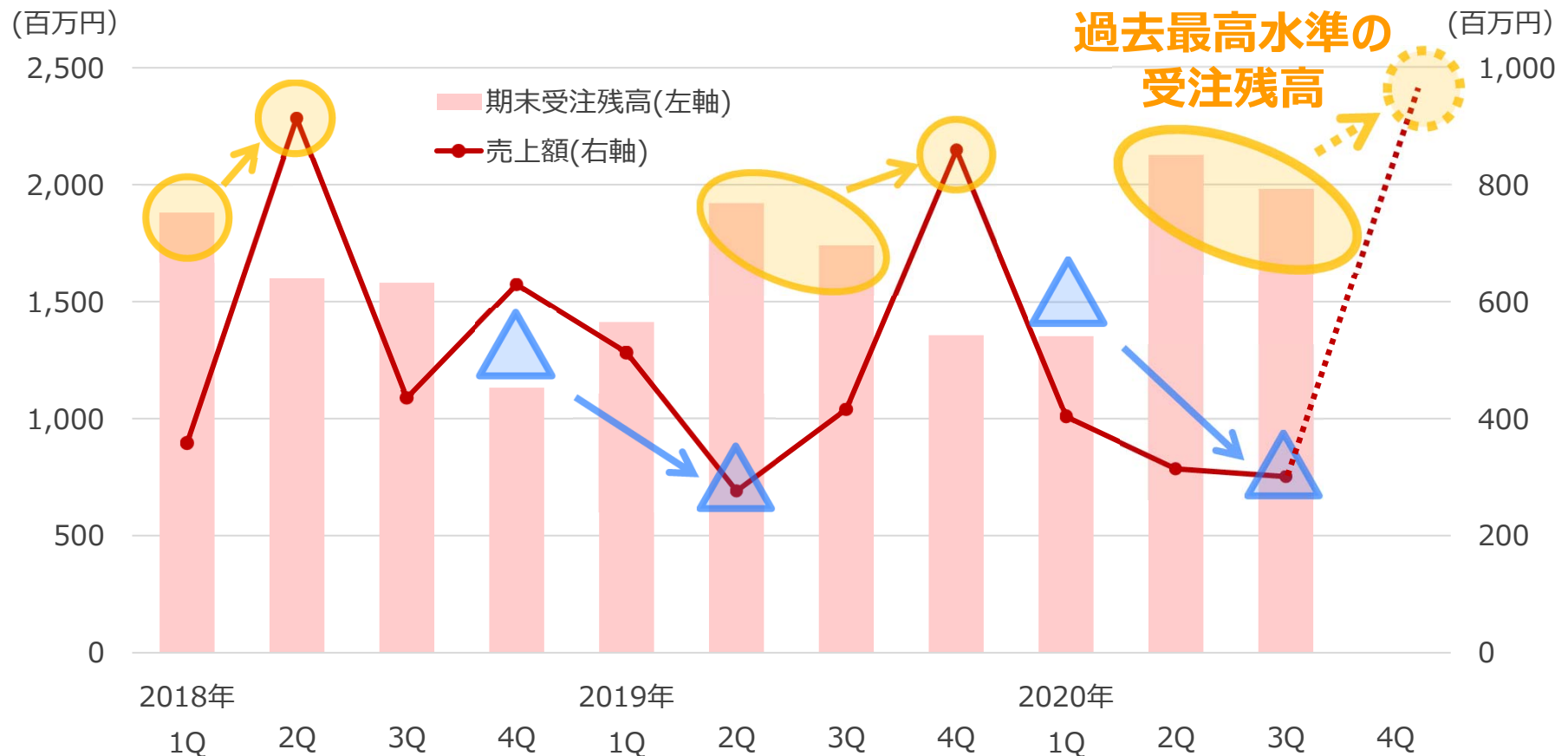
※M&A等の成功報酬は、確定もしくは確度が極めて高い案件のみ反映



\* Net売上高は売上高から外注費・案件紹介料を除いたもの

## ファイナンシャル・アドバイザー事業の売上および受注残高の推移

2020年2Q半ばまでコロナの影響による受注活動緊縮により、3Qまでの売上は低迷  
2Q後半から受注は回復し、受注残高は過去最高水準となる。4Q以降の売上へ  
寄与する見込み。



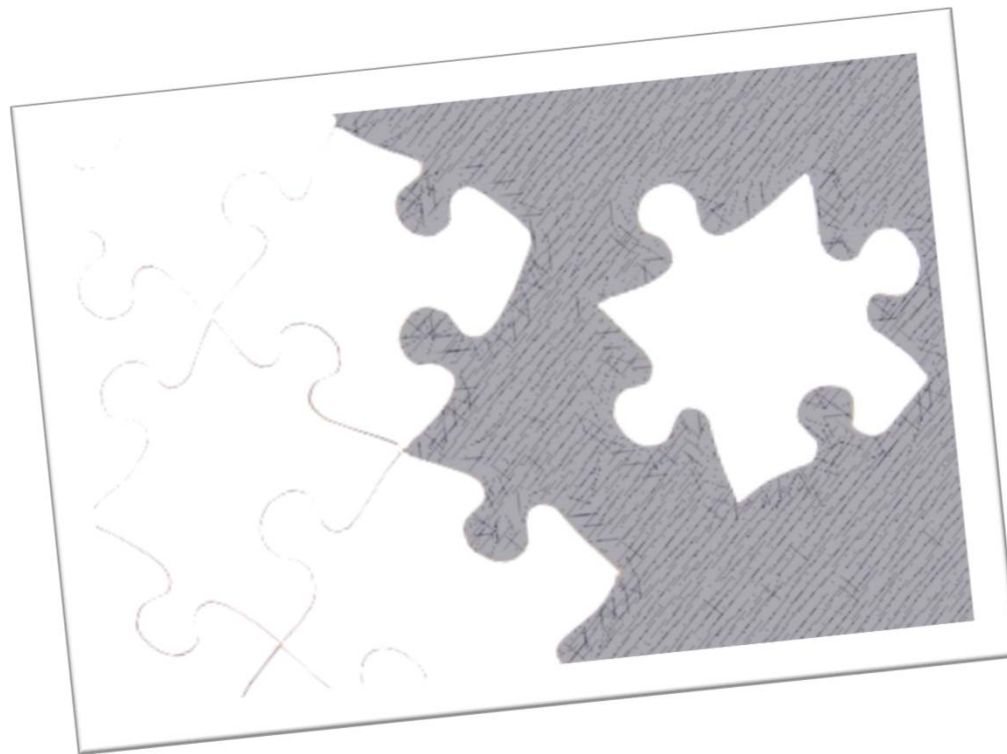
※「受注残高」は確度が高い案件を算出していますが、成約に至らないケースもあります。

## 株式の分割、流動性の向上へ

---

株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図るため

2021年1月1日 株式2分割を実施（基準日：2020年12月31日）





## Section 4

### 会社概要

# フロンティア・マネジメント設立の背景



代表取締役  
**大西 正一郎**  
Shoichiro Onishi

- 弁護士登録後、奥野総合法律事務所に勤務  
1997年 パートナー弁護士に就任
- 日本リースやライフ、大成火災海上保険の会社  
更生に管財人代理等に関与



代表取締役  
**松岡 真宏**  
Masahiro Matsuoka

- 野村総合研究所、バークレイズ証券会社を経て  
UBS証券会社に入社 1999年に株式調査部長 兼  
マネージングディレクターに就任
- 10年以上流通業界を中心に証券アナリストとして活動



入社

2003年 **IRCJ** 産業再生機構設立



入社

三井鉱山の案件に監査役として関与  
カネボウ及びダイエーの案件に取締役として事業再生に関与

カネボウ及びダイエー案件に取締役として事業再生に関与



2007年 共同で会社設立



フロンティア・マネジメント株式会社



# フロンティア・マネジメントの目指す姿

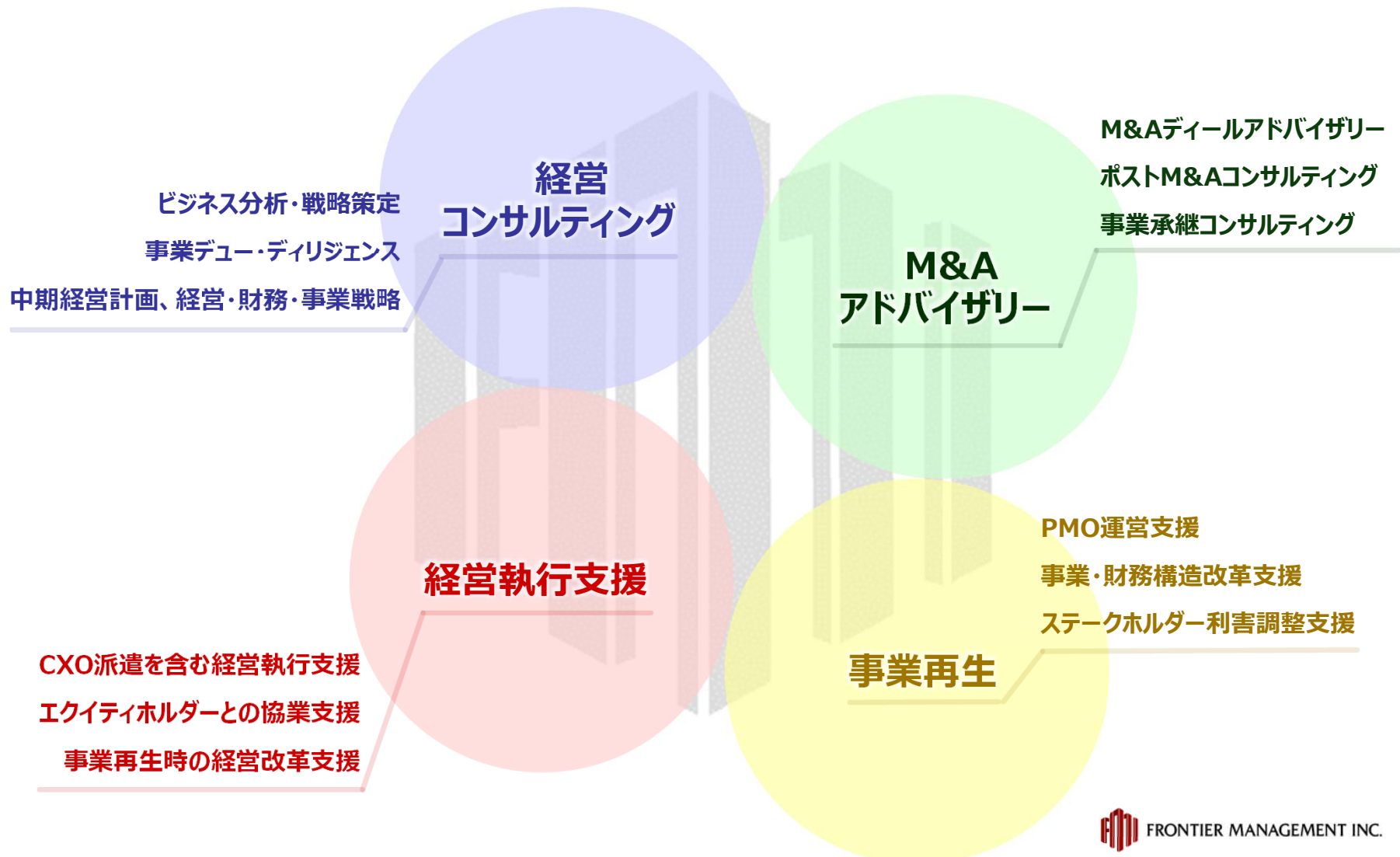
多様なバックグラウンドをもつ専門家集団として、世界の英知を集め複雑な企業課題を解決することを通じ、企業価値の向上と持続的社会の構築に貢献する



社員のバックグラウンド構成比  
2020年9月30日時点

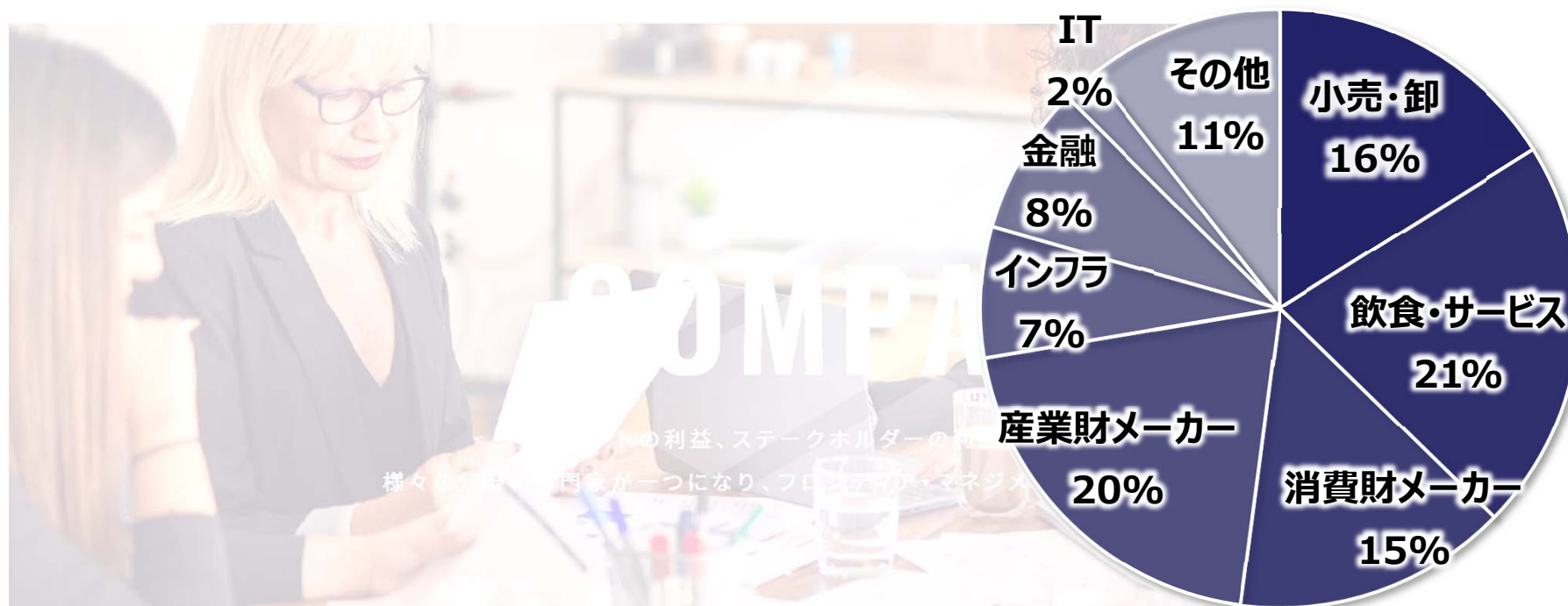
# フロンティア・マネジメントの事業内容

あらゆるステージの企業課題に対応した、幅広いサービスを提供



# フロンティア・マネジメントの特徴：多様な顧客層

## 多様な業界の企業様へサービスを提供



2019年12月期実績

# 沿革

---

- 2007年 ● 当社設立
- 2011年 ● 中国子会社（頂拓投資諮詢（上海）有限公司）を設立
- 2012年 ● クロスボーダーM&A強化のため、シンガポール支店を開設
- 2014年 ● 地域密着の経営支援サービス実現のため、長野支店・大阪支店を開設
- 2017年 ● クロスボーダーM&A強化のため、ニューヨーク支店を開設  
顧客への資金支援サービス提供のため、ファンド事業を開始
- 2018年 ● ファンドの第1号案件に投資実行  
東証マザーズに上場
- 2019年 ● サービス提供地域拡大のため、名古屋支店を開設  
現在地（東京都港区六本木）に移転
- 2020年 ● 東証1部に市場変更

# 取締役 組織図

## 取締役



代表取締役  
**大西 正一郎** (おおにししょういちろう)  
 1963年9月25日生



代表取締役  
**松岡 真宏** (まつおかまさひろ)  
 1967年9月20日生



取締役  
**高橋 義昭** (たかはしよしあき)  
 1955年12月6日生



### **クライアントの利益への貢献**

企業価値の向上を図ることで、クライアントの利益に貢献します。

### **ステークホルダーの利益への貢献**

バランスのとれたソリューションの提供により、株主・経営者・従業員・取引先・顧客・債権者等ステークホルダーの利益に貢献します。

### **社会への貢献**

顧客企業の提供する価値の向上を図ることで、社会に貢献します。

# 株主還元施策

---

## 今後も安定した株主還元施策を継続

- ・配当性向： 30%（継続）
- ・株主優待： 年2回 QUOカード 1,000円



# 会社概要

## 会社概要

商号	フロンティア・マネジメント株式会社	
英文	Frontier Management Inc.	
設立	2007年1月4日	
証券コード	7038 (東証一部市場)	
所在地	東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー41階	
TEL / FAX	<TEL>03-6862-5180 (代表) <FAX>03-6862-8611	
ホームページ	<a href="https://www.frontier-mgmt.com">https://www.frontier-mgmt.com</a>	
主要株主	大西 正一郎 松岡 真宏	
主要メンバー	代表取締役 代表取締役	大西 正一郎 松岡 真宏
	取締役 社外取締役 常勤監査役 監査役 (非常勤) 監査役 (非常勤)	高橋 義昭 大杉 和人 梅本 武 下河邊 和彦 服部 暢達
	専務執行役員 常務執行役員 常務執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	光澤 利幸 西澤 純男 西田 明德 矢島 政也 彦工 伸治 栗山 史 村田 朋博 阿部 敬 越野 純子
従業員数	223名 (グループ連結)	2020年9月末日現在
支店	大阪支店 ・ 名古屋支店 ・ 長野支店 シンガポール支店 ・ ニューヨーク支店	
グループ会社	Frontier Management (Shanghai) Inc. (100%子会社)	
関連会社	FCDパートナーズ株式会社 (日本政策投資銀行との合併会社)	

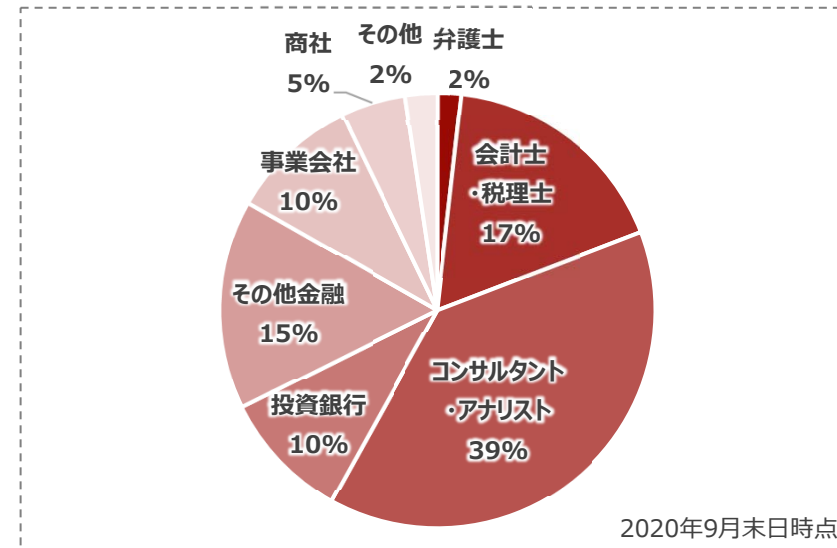


## 業務内容

1. 経営コンサルティング業務
2. M&Aアドバイザー業務
3. 経営執行支援業務
4. 事業再生業務

## プロフェッショナル構成比

- ✓ 企業経営に関わる各専門分野 — ビジネス、金融、会計、税務、法律etc. — の専門家が集結し、「弁護士・会計士・税理士」、「コンサルタント・産業アナリスト」、「投資銀行・事業会社・その他出身者」で構成されています。
- ✓ 各企業の経営課題に対して、最適な専門家チームを結成し、総合的な視点で課題解決へと導きます





# 本資料の取り扱いについて

---

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。